

「大勝小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立大勝小学校

2 学年・人数

1年生から6年生（計138人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年9月20日（木）本校運動場

(2) 発表の日時・場所

令和5年10月1日（日）本校運動場

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

起源は定かではないが、按司の世（約700年前）からあったのではないかとされている。豊かな実りに感謝し、来年の豊作を願う「祝付け」の踊りである。

(3) 構成等

男衆と女衆のそれぞれの「唄出し」と「太鼓（チジン）」から輪を描く。太鼓（チジン）を叩くのは、ほとんどが女衆。そのリズムに乗り、男女が島唄を交互に歌いながら八月踊りを踊る。そして、八月踊りの最後は、六調（ろくちょう）で締めくくる。

5 保存会や地域との連携の具体

運動会での発表の場を設定し、運動会練習の中で練習を行っている。大勝・中勝・浦が輪番制で担当し、老人会を中心とした集落の方々の指導のもと、島唄と八月踊りを伝承している。運動会では、児童・職員・保護者・地域の方々が、みんなで輪になって唄い、踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協働して八月踊りを伝承していくために、月一回の八月踊りの練習に参加するなど、学校（教頭・担当）と地域（老人会長など）との連携を密に行っている。また、運動会で八月踊りを発表するだけでなく、地域で行われる「種下ろし」にも積極的に参加している。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【八月踊りの練習 1】



【八月踊りの練習 2】



【運動会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 僕は、八月踊りが大好きです。たくさん練習したので、島唄も唄えるようになりました。種下ろしのときも友だちと唄いながら踊ったので、これからも八月踊りを頑張りたいです。

【保護者】

- ・ 楽しそうに踊っている我が子に感動しました。私も4年振りに我が子と一緒に踊ることができて、とても嬉しかったです。

【地域の方】

- ・ 地域での月一回の練習の参加者が増えてきています。みんなで八月踊りを守っていきましょう。

【教職員】

- ・ 「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」，地域の皆様あつての活動だと感謝しています。